

新基地建設反対名護共同センターニュース

「翁長氏の遺志継ぐ」県民3千人が別れ



翁長雄志前知事の県民葬が9日、那覇市内で行われ、主催者発表で3000人が献花。辺野古新基地建設阻止の公約を、命を削って貫いた翁長氏に最後の別れを惜しみました。実行委員長の玉城デニー知事が「県民は翁長雄志さんの遺志を引き継ぐ」と式辞を述べ、「平和で豊かな誇りある沖縄」の県づくりの継承を誓いました。

デニー知事の式辞（写真左）や城間みきこ那覇市長、呉屋守将氏などの追悼の辞に参列者から涙を流す人が多く見られました。最後に生前の翁長氏の映像と音声が流れると、拍手や歓声が上がリ、「翁長さん、ありがとう！」と声上がるなど感動的な県民葬となりました。

「子や若者たちに平和で豊かな誇りある沖縄を」
デニー知事や友人らが遺志を継ぐ決意誓う

写真左は、参列者の献花に頭を下げる翁長雄志夫人の樹子さんと長男の雄一郎さん



デニー知事がゲート前に

10月3日（水）午後4時、辺野古のゲート前に知事選に勝利した玉城デニーさんがやってきました。突然の来訪でしたが50名ほどの市民が集まり、喜びで沸き立ちました。デニー知事は、選挙直後の目のまわるような忙しいなかでしたが、「辺野古新基地阻止」を新県政でも柱に据えようとする決意をゲート前で示したものとなりました。



菅官房長官の追悼の辞に非難

政府から菅義偉官房長官が出席し、安倍首相の弔辞を代読。「政府として基地負担の軽減へ向け一つ一つ結果を出していく」、「県民の心に寄り添う」などと述べたことに、参列席から「ウソつけ」「民意無視しないで」などの非難の声が上がりました。

デニー知事を支える豊見城・那覇市長を！



左の写真はデニー知事（右）の支援をうけ訴える山川ひとし市長、見城市長候補、下の写真は豊見城市長候補



知事選に続いて豊見城市長選（14日投票）、那覇市長選（21日投票）が行われます。

●豊見城市長選は、「オール沖縄」の山川ひとし候補が、自民党陣営2候補（現市長と市議）と大接戦となっています。自民党市政からデニー知事と力を合わせる市政へ転換するチャンスです。●那覇市長選は、玉城デニー知事を県都から支える城間みきこ市長の再選を勝ちとれるかどうかの激しい選挙戦となっています。

★お願い★

- ①那覇市、豊見城市のお知り合いに、支持のお願いと支持を広げていただくよう訴えてください。
- ②条件のある方はボランティアとして駆けつけてください
- ③選挙募金にご協力ください。